

平成8年 WHEEL HOUSE, CONTROROOM

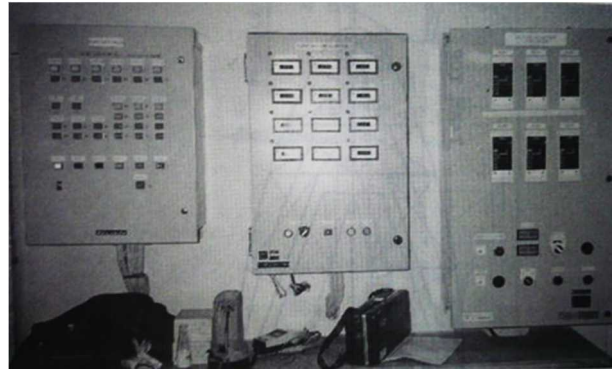
1. 「SULPHUR GLOBAL」 「船の科学」1996-4 (Vol.49, No.4) より採取。

- ・最新鋭 溶融硫黄タンカー(ダブルハル、ダブルボトム)「SULPHUR GLOBAL」、DWT 11,872 トン、航海速度 14.3 ノット
- ・船主 : Premier Marine Ltd.(Vanuatu) ・建造 : (株) 新来島どつく 大平工場 平成8年2月7日 竣工
- ・1) は本船全景、2) は Cargo Tank 監視 Panel (総合事務所)。

1) W71-01 SULPHUR GLOBAL 本船全景



2) W71-02 SULPHUR GLOBAL Cargo Tank Panel



2. 「きんいん1」 「船の科学」1996-6 (Vol.49, No.6) より採取。

- ・福岡市向け 全アルミ合金製双胴型旅客船「きんいん1」、博多ベイサイドプレイス～志賀島間に就航、総トン数 120 トン、航海速度 21.8 ノット、主機関 高速ディーゼル機関 1,000 PS×2、旅客定員 162 名乗組員 3 名、減容装置 (アンチ・ピッチ・フィン) を装備している。
- ・船主 : 福岡市 ・建造 : 三菱重工業 (株) 下関造船所 平成8年2月10日 竣工
- ・3) は本船全景、4) は操舵室。

3) W71-03 きんいん1 本船全景



4) W71-04 きんいん1 操舵室



3. 「SURYA AKI」(スリヤ アキ) 「船の科学」1996-9 (Vol.49, No.9) より採取。

- ・最新鋭小型 19,100 m³ 型外航 LNG 運搬船「SURYA AKI」、総トン数 20,524 トン、DWT 11,612 トン、航海速度 約 18.5 ノット、モス型 3 タンク。

荷役制御室は操舵室直下に設けられ、Cargo Console にて、荷役状況の監視、主要機器の制御、主用弁の操作を行う。主推進装置 蒸気タービン 8,826 kW

- ・船主 : MCGC International Ltd.(Bahama)
- ・建造 : 川崎重工業 (株) 坂出工場
平成8年2月18日 竣工

5) W71-05 SURYA AKI 本船全景

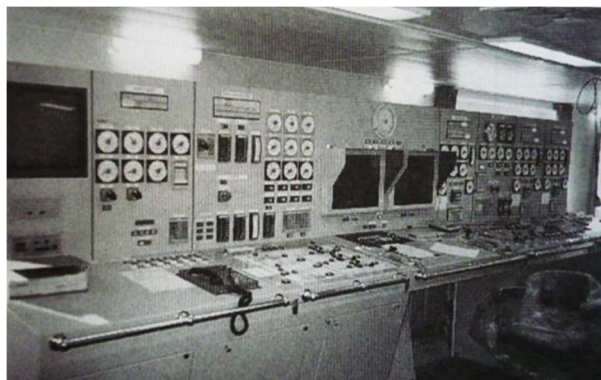


・ 5) は本船全景、 6) は操舵室、 7) は Cargo Console (荷役制御室)。

6) W7 1-0 6 SURYA AKI 操舵室



7) W7 1-0 7 SURYA AKI Cargo Console



4. 「BASLA 56」 「船の科学」 1996-10 (Vol.49, No.10) より採取。

・ 6,700 DWT 型 6隻シリーズ船 貨物船「BASLA 56」、DWT 6,701 トン

本船は一般貨物、木材、穀物、ポークサイト、クリンカーなど搭載し、主として米国、中南米で運航される。

主機関 ロングストローク2サイクルディーゼル機関、低質高粘度油を使用。 航海速度 12.5 ノット

・ 船主 : Floramonte Shipping Inc. (Panama) 同和ライン (株) 用船

・ 建造 : 佐世保重工業 (株) 平成8年9月18日 竣工

・ 8) は本船全景、 9) は機関室制御コンソール。

8) W7 1-0 8 BASLA 56 本船全景



9) W7 1-0 9 BASLA 56 機関室制御コンソール



5. 「GHAWAR」 (ガウワー) 「船の科学」 1996-11 (Vol.49, No.11) より採取。

・ 300型ダブルハル VLCC「GHAWAR」、DWT 300,361 トン リアクション・フィン、低速ロングストローク

型主機関を採用。軸発 (1,000 kW) を装備。 Computer System としては 安全確実な原油の積・揚荷のための

Super Cargo System、推進システムの保守・点検のための Plant Doctor、船内業務管理のための Shipboard Management System、高度航行支援監視を行う Integrated Navigation System を装備。

・ 船主 : The National Shipping Company of Saudi Arabia

・ 建造 : 三菱重工業 (株) 長崎造船所 平成8年4月30日 竣工

・ 10) は本船全景、 11) は操舵室。

10) W7 1-1 0 GHAWAR 本船全景



11) W7 1-1 1 GHAWAR 操舵室



6. 「第二日宝丸」 「船の科学」 1996-12 (Vol.49, No.12) より採取。

- ・5,000 kl 積み クリーンタンカー「第二日宝丸」、DWT 4,999 トン、軽質油（ガソリン、灯油、軽油、ジェット燃料等）を運搬する内航タンカー、内航タンカー近代化仕様を採用。高推力バウスラスト、ベクツイン舵を採用、荷役制御室には荷役自動化システムとして三菱スーパーカーゴを装備、機関部総合自動化システム、航海情報表示システム、電子海図表示システム（ECDIS）などを装備。

・船主：島津海運（株）

・建造：内海造船（株）瀬戸田事業所 平成8年8月30日 竣工

・12）は本船全景、13）は操舵室、14）は船橋航海制御盤、15）は船橋機関制御盤、16）は荷役制御室。

13) W71-13 第二日宝丸 操舵室



12) W71-12 第二日宝丸 本船全景



14) W71-14 第二日宝丸 船橋航海制御盤



15) W71-15 第二日宝丸 船橋機関制御盤



16) W71-16 第二日宝丸 荷役制御室



7. 「おーしゃん さうす」 「船の科学」 1997-1 (Vol.50, No.1) より採取。

- ・高速フェリー「おーしゃん さうす」、総トン数 11,114 トン、DWT 4,810 トン

17) W71-17 おーしゃん さうす 本船全景



18) W71-18 おーしゃん さうす 操舵室



航路は 東京～徳島～北九州。 旅客 148名、 搭載貨物 12m シャーシ 99台、 8tトラック 31台、 乗用車 71台、 航海速度 21.5 ノット、 主機関 中速ディーゼル 常用出力 12,240 PS×2 プロペラ CPP ×2、 フィンスタビライザー、 バウスラスタ 装備。

- ・船主 : 船舶整備公団、オーシャン東九フェリー (株)
- ・建造 : 尾道造船 (株) 尾道工場 平成8年9月28日 竣工
- ・17) は本船全景、18) は操舵室。

8. 「みやざき エクスプレス」 「船の科学」 1997-2 (Vol.50, No.2 採取。

- ・12,000 総トン カーフェリー みやざき エクスプレス 総トン数 11,931 トン、航路は大阪～宮崎 航海速度 25.0 ノット、車輻積載台数 12m トラック 130 台、乗用車 85 台、 旅客 690名、乗組員 42名 主機 中速ディーゼル×2 合計 39,600 馬力、 2機2軸 CPP, バウスラスタ、スターンスラスタ、マリナー舵×2を操船性向上のため装備している。横揺れ防止のためフィンスタビライザーを装備。軸発2台装備。

- ・船主 : 船舶整備公団、(株) マリンエクスプレス
- ・建造 : 三菱重工業 (株) 下関造船所 平成8年11月25日 竣工
- ・19) は本船全景、20) は操舵室、21) は機関制御室。

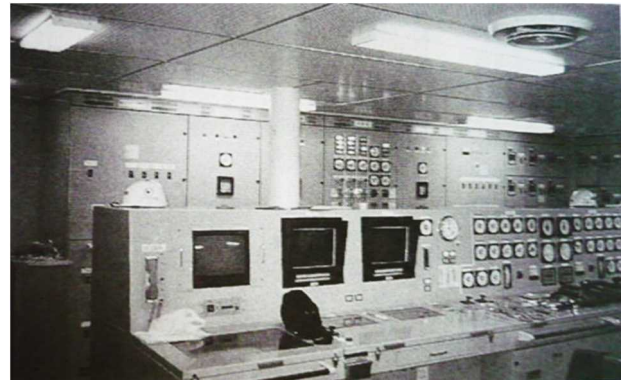
19) W71-19 みやざき エクスプレス 本船全景



20) W71-20 みやざき エクスプレス 操舵室



21) W71-21 みやざき エクスプレス 機関制御室



9. 「ANTWERPEN VENTURE」 「船の科学」 1997-4 (Vol.50, No.4) より採取。

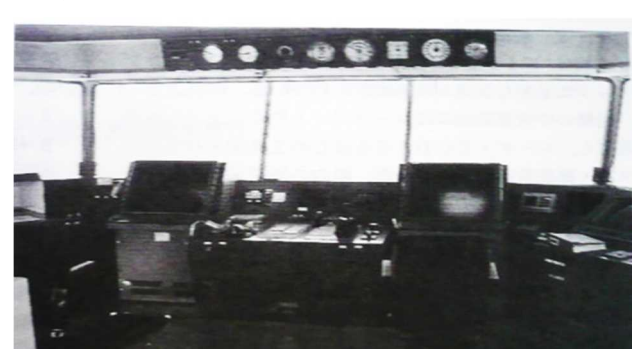
- ・独立タンク方式 39,000m³型 多目的 LPG 運搬船「ANTWERPEN VENTURE」、DWT 30,309 トン、通常の LPG (プロパン、ブタン)、無水アンモニア、塩化ビニールモノマー (VCM)、プロピレン、ブチレン、ブタジエンなど多量の貨物を積載可能。 速度 (計画満載) 16.00 ノット、バウスラスタ (CPP 付き) 装備、ワンマン・ブリッジオペレーションに必要な自動化設備 (W1-OC) を備えている。

機関部と貨物部を統合した ICMS (Integrated Control Monitoring System) を装備。計測点数 約 1,200 点。 20" CRT 貨物室 3、機関制御室 2、船橋 1、 ECDIS 装備。

22) W71-22 ANTWERPEN VENTURE 本船全景



23) W71-23 ANTWERPEN VENTURE 操舵室



- ・船主： Canadian Shipping Limited ・建造： 日立造船（株）有明工場 平成8年11月28日 竣工
- ・22) は本船全景、23) は操舵室。

(メモ)

- 1) 珍しい船としては、溶融硫黄タンカー「SULPHER GLOBAL」、小型 19,100m³型 LNG 運搬船「SURYA AKI」、5,000kl 積みクリーンタンカー（軽質油を運搬）「第二日宝丸」、独立タンク方式 39,000m³多目的 LPG 運搬船「ANTWERPEN VENTURE」などが挙げられる。
- 2) この年も高速フェリーや高速旅客船が多い。「おーしゃん さうす」、「みやざき エクスプレス」、全アルミ合金製双胴型旅客船「きんいん1」など。
- 3) 高速フェリーでは操船性を上げるため、2機2軸 CPP, バウスラスタ、スターンスラスタ、マリナー舵、などを装備し、横揺れ防止のためフィンスタビライザーを装備するなど制御の高度化が図られている。
- 4) 軸発が多く採用されるようになった。
- 5) 造船各社が開発を進めていた Computer System が完成し、実船に搭載されだした。原油の積荷・揚荷を行う Super Cargo Plant Doctor、全体を管理する Shipboard Manager、航海総合システムである Integrated Navigation System (ECDIS を含む) などである。
- 6) 内航タンカー近代化仕様がまとめられ、「第二日宝丸」に適用された。